

まとめ

「薪づくりは自分づくり」

もし、薪づくりの過程で大変なことがあっても、それを上回るものを得ることができます。薪づくりは自力で作りに出したエネルギーで半年間、不自由なく、暖を取り家族が喜ぶことや陽だまりのような暖かさを毎日楽しめることのほか、心身に良循環を引き起こします。

- ・エネルギーを自分で作ろうと気概が強まり、高揚する。
- ・斧やチェーンソーをそろえることで道具を持つ喜びと使う楽しみが増す。
- ・薪が薪棚に整然と並び、冬への備えが終わった安堵感と充実感に浸り、何か誇らしげな自分に気づき、わくわくすることで免疫力アップにつながる。
- ・自分でできることが多くなり、やりがいと自信が高まる。同時に体を動かすため、健康になる。
- ・家中が暖かい、陽だまりのような心地よさを一年の半分、これからの人生の半分の毎日を楽しめます。
- ・暖を取るだけでなく、炉内でピザが焼け、天板ではいつでもお湯が沸き、煮物がコトコトとしてよい香りが漂う。おいしく食べることの豊かさを実感します。
- ・やがて、立っている樹木を伐倒するようになる。安全確保や技術習得のため講習会などを体験し、薪づくりの自信と安全が更に高まる。
- ・薪づくりは近隣の人や自然への感謝の上に成り立つことを知る。

このように薪づくりは次々と良い連鎖を繰り返し自己実現を手助けします。

つまり、「薪づくりは自分づくり」なのです。

活動に求めるものと活動から得られるものはたくさんあると思います。

自己実現、スキルの習得、社会貢献、人とのつながりなど、一人一人違った組み合わせで活動の魅力を作っています。

薪割り交流イベントを通し、いただく感謝の言葉や笑顔は、何物にも代えがたい報酬です。

人からの感謝の気持ちは、ボランティア活動を続けるモチベーションとなります。

このことで得られる、満足感や幸福感は、身体的および精神的健康に良い影響があると思うのは私たちだけではないと思います。

白河高原薪の会、まだまだ頑張ります。

興味がある方はぜひ参加してください。